

第23回

『子どもと健康』研究フォーラム 8月18日(金)開催のご案内

記念講演講師は、テレビ等でおなじみの、あの南雲吉則さんです!

記念講演

命の食事～大切な子どもたちを病気から守る食事と生活

講師 南雲 吉則さん (ナグモクリニック総院長)

今年の午前の部は、テレビ等で活躍のおなじみの、医師の南雲吉則さんです。

多数の講演他、著書も数多く出されており、お手にされている方もいらっしゃるのではないのでしょうか?

1日1食、精製した糖質NG

——ちょっと“過激”に思える内容かもしれません。

——養護教諭の皆さんのこれまでの「健康常識」を打ち破るものかもしれません。

しかし、南雲さんご自身、提案者であり実践者。テレビ等に映る南雲さんの、あの齢にしてあのパワフルさ。

アンチエイジングで知られる南雲さんですが、近年はがんを予防する「命の食事」の提唱もされています。がん細胞を増殖させやすい食生活とは? そしてなぜ今、南雲さんの健康法がこんなに人気があるのか、南雲さんの生の声を聞きながら一緒に考えてみましょう。



分科会

第1分科会 学校救急処置 保健室での見立てのコツ——フィジカルアセスメントの手法を生かして

講師 鋪野 紀好さん(千葉大学医学部附属病院総合診療科 特任助教 兼 総合医療教育研修センター)

第2分科会 どうする? 保健室の整理整頓、レイアウト

講師 今野 洋子さん(北翔大学 教育文化学部 教育学科 整理収納アドバイザー 元養護教諭)

米村 大子さん(北翔大学 養護教諭コース臨時講師)

報告者: 及川 比呂子さん(三浦市立初声小学校) 根本 由美子さん(千葉市立学校 前千葉大学附属小学校)

第3分科会 学校危機管理 子どもの尊厳・いのちを守るとは——「指導死遺族」、「いじめ当事者と共に歩んできた専門家」と語る

講師 南部 さおりさん(日本体育大学 スポーツ文化学部 武道教育学科 スポーツ危機管理学准教授)

大貫 隆志さん(「指導死」親の会共同代表)

武田 さち子さん(教育評論家 全国柔道事故被害者の会アドバイザー)

夏休みの1日、仲間の養護教諭とともに学び、交流しましょう。

●日 時: 2017年8月18日(金) AM10:00~PM4:30

●会 場: 東京・神保町、日本教育会館内「一ツ橋ホール」 他会議室

●参加費: 7,000円 ●主催: 『子どもと健康』編集委員会

プログラム 2017年8月18日(金) [受付開始] 午前9:30 [開会] 午前10:00

午前 10:00～12:00 (日本教育会館 一ツ橋ホール)

記念講演 10:10～11:50

命の食事～大切な子どもたちを病気から守る食事と生活

講師 南雲 吉則さん (ナグモクリニック総院長)

午後の分科会 13:00～16:30

会場は以下の日本教育会館内。予定会場に変更が出るかも知れませんが、当日、受付でご確認のほどお願いいたします。

第1分科会 (一ツ橋ホール)

学校救急処置 保健室での見立てのコツ

——フィジカルアセスメントの手法を生かして

講師 鋪野 紀好さん (千葉大学医学部附属病院総合診療科 特任助教 兼 総合医療教育研修センター)

フィジカルアセスメントとは、問診・打診・視診・触診などを通して、症状の把握や異常の早期発見を行なうことです。日頃、「健康観察」し「問診」し、「子どものニーズをつかむ」ようにしている養護教諭の皆さんですが、その見立てに悩まれるところもあると思います。参加される養護教諭の皆さんの実情に即しながら、腹痛や頭痛、咽頭痛などを訴えて保健室に来る子どもたちをみるコツ、ポイントをお話いただけます。

第2分科会 (8階 第1会議室 定員280人)

どうする? 保健室の整理整頓、レイアウト

講師 今野 洋子さん (北翔大学 教育文化学部 教育学科 整理収納アドバイザー 元養護教諭)

米村 大子さん (北翔大学 養護教諭コース臨時講師)

報告者: 及川 比呂子さん (三浦市立初声小学校) 根本 由美子さん (千葉市立学校 前千葉大学附属小学校)

各校、広さや施設設備などそれぞれ制約がある保健室。一方でどんどんたまる資料の整理整頓やその収納、レイアウトにも悩みます。日々の仕事しやすい整理術—その「Before After」を養護教諭経験のある講師から提示いただけます。そして「私の保健室の課題や工夫」について参加者同士で話し合い、「私だからその保健室」を考えましょう。

*可能な方は自分の保健室の写真(特に困っている点や工夫している点)を撮ってきてください。

第3分科会 (8階 第2会議室 定員160人)

学校危機管理 子どもの尊厳・いのちを守るとは

——「指導死遺族」、「いじめ当事者と共に歩んできた専門家」と語る

講師 南部 さおりさん (日本体育大学 スポーツ文化学部 武道教育学科 スポーツ危機管理学准教授)

大貫 隆志さん (「指導死」親の会共同代表)

武田 さち子さん (教育評論家 全国柔道事故被害者の会アドバイザー)

「指導死」とは、教員からの「指導」を直接受けたり、それを見聞かしたりした子どもが、それによって精神的に追い詰められ死に至ることです。学校・部活動における事件・事故の当事者や遺族の思いに寄り添い、その実態と予防を訴えてきた南部さんと、指導死遺族、指導死やいじめ当事者と共に歩み発言してきた専門家からお話を伺います。そして、学校・教育に携わる当事者として、グループワークをしながら、講師の方がたと「子どもの尊厳・いのちを守ること」を考え、学び合きましょう。

■参加のお申込みは、右にある郵便振替用紙にご記入のうえ、切り取って、郵便局からお申込みください。3つの分科会(第1・第2・第3)の中から、第1希望、第2希望の分科会をご記入ください。

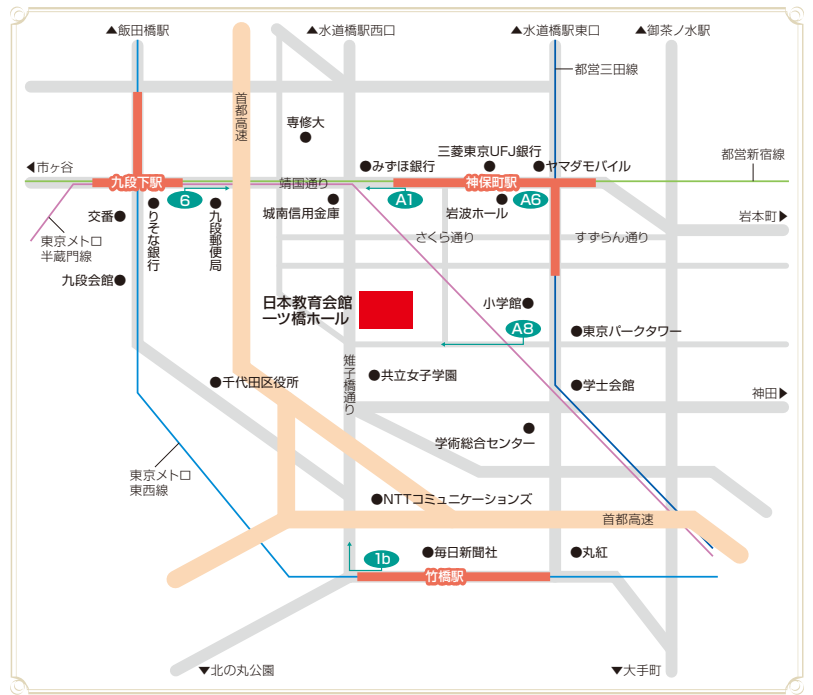
■ご入金いただいた後、参加証をお送りいたします。

■参加のお申込み・お問合せは、

労働教育センター 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館内 Tel 03-3288-3322 Fax 03-3288-5577

日本教育会館 一ツ橋ホールへの交通案内

※会場内は場所によって冷房の強弱がありますので、必要な方は上着等をご用意ください。



〈所在地〉

日本教育会館 ▶ 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 道案内専用電話 03-3230-2833

〈交通〉 電車の場合

- 日本教育会館 ▶ 地下鉄 都営新宿線・東京メトロ半蔵門線 神保町駅(A1出口)下車徒歩3分
- 一ツ橋ホール ▶ 地下鉄 都営三田線 神保町駅(A8出口)下車徒歩5分
- 地下鉄 東京メトロ東西線 竹橋駅(1b出口)下車徒歩5分
- 地下鉄 東京メトロ東西線 九段下駅(6番出口)下車徒歩7分
- JR 総武線 水道橋駅(西口出口)下車徒歩15分

「子どもと健康」研究フォーラム開催一覧(毎年8月に開催)

回	午前：記念講演 講師	午後：分科会
第10回	Talk&Talk こととからだの健康と子どもの「食」/「生きる」をどう伝えるか 小林カツ代 内藤いづみ 中村和彦	①小児神経科 けいれん・てんかん等 ②セルフ・エスティームを高めよう ③死をみつめて生きよう 死生学 ④性教育とコミュニケーションスキル ⑤若者向けエイズ教育プログラム ⑥くすりをみつめ、考えよう ⑦ライフスキル学習の理論と実践
第11回	やってみよう!保健の授業 上條晴夫	①こんなときどうする?救急処置 ②おもしろ・楽し 子どもたちの力がつく保健の授業 実践編 ③ヘルスカウンセリングを学ぶ
第12回	「オイカワ流授業」に参加しよう! 及川比呂子 上條晴夫	①学校救急処置 劇症型アレルギー：アナフィラキシーと症状 ②何のための性教育? 今できる性教育を ③健康相談活動に生かすカウンセリングスキル
第13回	産婦人科医院の診察室からみた子どもたちの性と生 河野美代子	①どう関わる?特別支援教育 ②学校救急処置 整形外科 ③性教育(模擬授業)
第14回	養護教諭を取り巻く状況 中教審答申と養護教諭 鈴木裕子 子どもの問題、おとなの問題、学校の問題 香山リカ	①学校救急処置 眼科 ②災害発生時の養護教諭の対応と保健室の役割 ③「発達障害」の子の支援 子どもの自立を促す自己肯定感をどう高める?
第15回	モイストヒーリング 体の自然な回復力を生かしたキズケア 塩谷信幸	①モイストヒーリング実践編 ②いま、心のケアに求められるもの ③「特別支援教育」を考える 子どもの自立を促す自己肯定感 ④養護教諭のしごと私の取り組み
第16回	子どもの体温免疫力を上げる 安保徹	①フライトドクターが語る学校での緊急を要するケガや病気 ②養護教諭が知って役立つ東洋医学の基礎知識 ③子どものメンタルヘルス いじめ・不登校を中心に考える ④ここから始めよう性教育
第17回	違いを認め合うということ 姜尚中	①子どもを頭痛から守るには ②ホスピタル・クラウンの活動から学ぶ 子どもの心のケア ③保健室で役立つ東洋医学実践編 ④私たちの保健教育 現役養護教諭による実践例紹介
第18回	講談 チェルノブイリの祈り 神田香織	①発育期におけるスポーツ障害 ②保健室で使える東洋医学 ③第1回シンポジウム 東日本大震災と養護教諭 ④養護教諭として大切にしていること
第19回	反骨の救急救命医から学ぶ「トリアージ」 阿南英明	①養護教諭が取り組む「トリアージ」の可能性 ②アナフィラキシーと学校対応 ③第2回 シンポジウム 東日本大震災と保健室 ④健康教育の授業をどう創る 子どもをひきつける指導技術・指導方法
第20回	腸内環境を整備して快適生活を! 小林弘幸	①災害時、養護教諭にしてほしい「トリアージ」実習講座 ②心身に問題を抱える子どもにどう寄り添い、どう支援するか ③第3回 シンポジウム 東日本大震災と保健室 ④今、求められている性教育を考える
第21回	「性」の健康とは 産婦人科医が語る10代の性と生の今 早乙女智子	①救急処置 耳鼻咽喉疾患と学校での対応 ②発達障がいのある子の理解と支援 ③やってみよう!性と生の教育
第22回	子どものスマホ依存の実態と、その対応 三原聡子	①スポーツ障害から子どもを守る ②発達の課題をかかえる子への将来をみすえた対応 ③学校の危機管理・事故対応で大事なこと

(株)労働教育センター

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館

TEL. 03-3288-3322 FAX. 03-3288-5577 URL <http://www.rks.co.jp/>